



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2018 年 4 月報

- 国際会長主題 「ともに光の中を歩もう」
- アジア太平洋地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「広げよう ワイズの仲間」
- 北東部長主題 「距離に負けるな北東部 クラブの個性を磨こう」
- クラブ会長主題 「クラブ ファースト」

会 長 横倉 純
 副 会 長 今澤智代
 書 記 佐々木絹子
 会 計 田中京子
 メネット会長 田村成子
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「だから、言っておく。自分の命ことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。空の鳥をよく見なさい。種も撒かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。」

マタイによる福音書 第6章25節～26節

4月の例会

日 時 : 4月17日(火)

18:30~21:00

会 場 : ビッグエコー仙台一番町店

会 費 : 3,500円

内 容 : お花見例会

司 会 : 田中京子

食前感謝 : 工藤悦子

3月例会報告

在籍者	17名
出席者	9名
メイキャップ	1名
ゲスト・ビジター	0名
メネット・コメント	2名
出席率	58.8%
ニコニコ	11,000円



巻頭言 「年度末」

工藤正剛

3月、4月は年度末と年度初めということで一つの区切りです。卒園式、卒業式があり、入園式、入学式、入社式があります。そして、社会人であれば転勤もあり引っ越しの季節でもあります。

ワイズは年度の区切りが4月ではありませんので、ぴんと来ないところもありますが、大方の年度の区切りは3月4月であります。

国の会計年度、会社の会計年度も、例外はありますが、大方は4月に始まり3月に終わるというサイクルで区切りを付けています。NPO法人、社会福祉法人、学校法人等々、多くの組織はこの時期に一斉に区切りをつけるのです。これらの組織では前の年度の区切りとして1年間の活動報告と会計決算を行います、そして新しい年度に向けて事業計画を立て、予算案を作成します。

これらの準備のために、役に付いている者は役員会に出席し、意見を述べるだけではなく、それらの報告、決算の作成にかかわることもあります。

一つの組織でも忙しい時期ですが、これが多くの組織にかかわりのある場合には、1日に3件から、4件の会議に出席しなければならないこともあります。帰宅後はその整理、議事録作成などで、ほぼ毎日、日を跨ぐこととなります。

これでも、若い時にはどうかそれらを無事に（多少の間違いなどはあったにしても）乗り切っていたものですが、80歳を目の前にして、少々つらくなってきました。整理を考えなければいけないと思うこの頃です。

ところで、先日、我がクラブの長老、岡メンの著書をいただき、まだすっかり読んだわけではありませんが、拾い読みの中で、岡メンがNEDOの思い出の中で官僚出身者との間でのご苦労された下りに、元国家公務員だった私は、思わず「さもありがたみ」、と一人にやにやしたものです。

組織は、時代に即して対応できるよう柔軟でなければならないものだと思うのですが、時によって（担当者）によって硬直化して、「ねばならぬ」が前面に出てしまうことがあるのですね。自戒、自戒

4月の強調月間「LT」

「LT」(Leadership Training)は会員のリーダーシップ開発、向上を目的に行う研修。すべての会員はその役に就く前に十分な研修を受け、任務の遂行に備えなければならない。日常のワイズ活動そのものが広い意味では常にリーダーシップのトレーニングである。例えば、返事を求めて来た通信に、できるだけ早く答える。これは基本的なLTである。

3月例会報告

日 時：2018年3月20日（火）19：00～21：00

会 場：仙台YMCA立町会館 会議室

出席者：阿部・阿部コメ・小幡・工藤・鈴木・佐々木・高松・田中・田村メネ・横倉・吉田

例会模様：

司会は工藤メン。開会に先立ち、去る2月24日、天に召された新子一哉ワイズメンの御霊に一同黙禱にて祈りを捧げました。

開会点鐘、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条と続き、会長挨拶では「仙台クラブ70周年記念祝会の実行委員長を阿部ワイズメンに担って頂くことになり感謝申し上げます。」と述べられ、また、過日仙台で持たれた、アジア太平洋地域大会準備委員会の報告を簡単に話された。

佐々木ウィメンの食前感謝の後、本日のメインイベント、3月お雛祭りを祝い、女子会の手作りによる「ちらし寿司」登場、各自に盛られ「いただきま〜す」しばしモグモグ・・そして口々に「美味しい、美味しい！」と、次々お替りとなり、勧められ4杯目という方も。皆さん満腹の大満足の時となりました。次は折り紙です。目指すはひな人形、田村メネットの指導により、これまた集中のひと時となり、それぞれ完成しました。

その後、座席順に出席者一人一人から、一言スピーチを頂きました。その順に。

田村メネット：何年かぶりに治之メンが「お雛様を飾る」と言って、飾りました。少し元気が出てきたかな、と嬉しく思っています。

佐々木ウィメン：エリちゃんがヴィトンを退職し、虎太郎君から解放され自由人になりました。虎太郎とはまだ手をつないで歩いていますが、5年生になったら無理だろうな〜。

阿部コメット：お雛様は年中飾っていますが、シーズンオフはカバーを掛けています。今日は久しぶりにお雛祭りを味わうことができ、ありがとうございました。

阿部メン：ご自宅での新子ワイズメンの前夜式に行ってきました、良い前夜式でした。

中川メン：国際地域協力募金委員会の委員長を担っていますが、目標200万円に7万円不足「自腹を切れ」などの声ありです。仕事の方では入札が続きイライラです。



工藤メン：数え80才になりました。物忘れも激しくなり時々困っております。

高松メン：末娘が泉高校へ、長男が秋田の大学にそれぞれ4月から進学します。保育園では19回目の卒園式を無事終え、新入園児を21名迎えます。

横倉メン：3日後に古希を迎えます。健康のためにもと始めた朝刊配達は4年を過ぎましたが、もう少し頑張ってみようと思います。

小幡メン：新子さんはじめ自分の周りで最近立て続けに亡くなる方がおり、こんな経験ははじめてです。家族共々健康には十分注意したいと思います。

鈴木ウィメン：お雛様の折り紙が上手くでき嬉しいです。明日墓参りに行こうかどうか迷いつつ、人事異動がまだオープンにならずそちらも気になっています。

田中ウィメン：土・日家族で温泉に行ってきましたが、孫が大きくなり、もう離れて行くんだな〜、と少し寂しい思いにもなっております。

吉田ウィメン：一番下の孫が幼稚園に入るので少しサポートが楽になりましたが、生地で裁縫を頼まれることが多くなり少々困ってしまいます。会員増につなげたく、知り合いに声掛けしようと心がけています。

連絡報告では東日本区大会への登録状況の把握と、今回は各自で申し込むことが確認された。誕生祝いの後ニコニコ、本日のニコニコは募金委員長の中川ワイズの支援にと、国際地域協力募金に追加で献金することが承認されました。



閉会挨拶は吉田直前会長「今日はいつもと違った趣向で楽しい例会になりました。またこのような企画をし、会員増につなげて行きたいと思えます。」と述べられ、閉会点鐘にて閉じられた。ニコニコ11,000円。



新子一哉ワイズメンを偲んで

高松 成士

2018年2月24日、油谷重雄氏（平和七夕発起人）より、新子一哉メンの天に召されたとの一報が入った。遡って2010年10月、多発性脳梗塞を発症され、その後、元気に回復され水の森市民センターで偶然知り合った「ポールウォーキング」を楽しそうに話されていた。しかし、楽しみにしてポールウォーキングに出向いたが、初級者がおらず上級者に交じり参加し転倒され痛い思いをしたとも後日伺った。その後の入退院は、皆さんもご存知のことと思います。

1986年、私が仙台YMCAスタッフに憧れ採用試験に臨んだ面接者のお一人が当時総主事の新子さんでした。同年度末、総主事を退任され、その後1993年3月まで仙台YMCA幼稚園園長を務められた。仙台YMCA大学予備校出身の私にとって、仙台YMCA総主事、仙台YMCA幼稚園園長としての新子さんのイメージが強い。私の妻の上司も新子さんでした。広島、盛岡出向帰任と忙しかった時代に新子さんとお会いすることが殆どありませんでしたが、2001年本部事務局担当となり、新子さんとお会いする機会が一機に増えていきました。常議員会・理事会、社会福祉法人理事会、仙台ワイズ、100周年記念誌編纂委員会と毎週のようにお会いしていたのではないのでしょうか。仙台ワイズには、当時の上司との再会と3人の子どもも紹介することができたことを妻も心から喜び、お花見例会、メネット芋煮会、クリスマス例会には家族で参加することが恒例でした。個人的に新子さんと多くの時間を過ごしたのは100周年記念誌編纂委員会でした。故長谷川精一氏、故金城平真氏と共に仙台YMCA100年の歩みを全600項にまとめ上げられたのは新子さんの同盟出版部での経験と、総主事としての記憶があったからと信じています。「真実を記念誌に記録として残したい。」と訴える私に、新子さんが『存命の先達の内容は必要以上記載せず、今回の高松さんの記憶にしまっておきましょう。』と優しく諭してくださったことが印象的です。新子さん自身、総主事時代の反省を口にされることもありました

が、笑い話のように総主事に就任された当時の仙台市、キリスト教界、仙台YMCAを思い出されたい新子さんが懐かしくも思います。明らかなのは変動の時代、仙台YMCA事業の改編と施設の増強を進め、個性の強い職員を穏やかな笑顔でまとめ礎を築いたのは新子さんであると断言できます。また、私の中では、仙台YMCA初代総主事は新子一哉ワイズメンです。

新子一哉ワイズメンの仙台YMCAでの奉職歴を記載させていただきます。感謝です。

1955 年度	少年会館建設計画・同資金募金運動応援協力主事（6 か月）
1965～1985 年度	仙台YMCA第4代総主事着任 仙台YMCA幼稚園園長（兼務）、仙台YMCA常務理事
1970～1985 年度	仙台YMCA常議員
1986～1992 年度	仙台YMCA幼稚園園長（囑託）

わたしの好きな言葉 「早起きは三文の徳（得）」

横倉 純

朝、早く起きることは（早寝であり規則正しい生活になり）健康にも良いし、必ずいくらかの利益があり、また、何か自分にとって、良いことが得られるというたとえ。小説家で精神科医の常木蓬生（ははきぎ ほうせい）さんは毎朝3時起床で朝食の準備と、2時間の原稿書きをし、ストレッチ（鉄アレイで筋肉鍛える）と朝食の後、弁当持参で診療所に就く。筋肉を100g失うと医療費が25万円増える。日本の医療費は年間で42兆円、70歳以上の人の平均医療費は年90万円。これが年々増え大問題になる。健康寿命と寿命の差を如何に少なくするかが重要。医療の世話にならなければ年約100万円の得。故に「早起きは3千円の得」となる。ラジオ深夜便「明日への言葉」より。ちなみに私は毎朝3時半起床です。



4月第2例会報告

日 時：2018年4月3日（火） 19：00～20：40

会 場：仙台YMCA立町会館 会議室

出席者：鈴木・田中・田村メネ・中川・横倉・吉田

- ① 4月例会は例年どおり花見例会として開催し、会場はカラオケ店の個室を予約する。店の選定は鈴木ウィメンが条件等を検討し別途確定する。
- ② 第3回北東部評議会が4/21（土）宇都宮にて開催される。佐々木・田中・横倉の3名が出席予定。
- ③ 4月東日本区ニュース（理事通信）の内容を確認する。第21回東日本区大会6/2（土）・3（日）、沼津市にて。登録申し込みは各自で行うこととする。現在中川、吉田、横倉の3名が登録済。
- ④ 次期クラブ会長は中川ワイズメンに担って頂きますが、他の役員について意見交換を行った。
- ⑤ 名古屋グランパスクラブ被災地訪問の日程等を確認する。今回随行等は見送りとした。
- ⑥ 特定非営利活動法人シャロームの会（元青葉城クラブ会員、菊地茂さん運営の就労支援事業）で月4回ほど開いている「まざらいん食堂」の参加報告があり、支援について今後検討する。
- ⑦ 東京北クラブ、村杉ワイズメンの逝去に伴い、仙台クラブ会員一同で弔電が奉てんされた旨報告があり確認された。吉田ウィメンが告別式に参列された。
- ⑧ 8/8～8/13に韓国の麗水（ヨス）で開催される第73回国際大会について、ワールドトラベルさんでツアーが企画されている旨確認する。4月末まで大会登録を行うと登録費の割引適用になる。
- ⑨ 中央郵便局から使用済み切手を段ボール箱4箱（大2・小2）の提供があった。皆さんの協力で整理をしていきたい。